

単元名

1 節 第一次世界大戦と日本

2 節 大正デモクラシーの時代

1 単元のねらい

第一次世界大戦の前後から戦後の国際協調が進む時期の我が国の動きと世界の動きのあらましを理解するとともに、中国や朝鮮の民族運動の高まりや国際平和への努力、我が国の国民の政治的自覚の高まりに気付くことができる。

日本におけるデモクラシーの高まりを背景にして、様々な立場の人々が自らの生活と権利の向上を目指して立ち上がったことを、様々な社会運動の広がりを通して考えることができる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦後の国際情勢及び我が国の動きを理解するとともに、国際平和への努力がなされたことをとらえ、その知識を身につけている。 ・第一次世界大戦前後の国際情勢と、我が国の国民の政治的自覚の高まりに関する文献、統計グラフ、地図、映像などの様々な資料を収集し、適切に選択して活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の歴史的な意義や戦後の国際協調の動き、日本における政党政治の発達、社会運動の展開などを通して、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の国民の政治的自覚の高まりを多面的・多角的に考察し、公平に判断したり、適切に表現したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦後の国際情勢と、我が国の国民の政治的自覚の高まりやそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

●学習改善につなげる評価 ○評価に用いる評価

	1	2	3	4	1	2	3
知識・技能	●	●				○	
思考・判断・表現			●	●	○		○
主体的に学習に取り組む態度	●						○

3 単元構造図（全7時間） ☆獲得する認識

単元名

第一次世界大戦と日本
大正デモクラシーの時代

単元学習前の生徒の認識

欧米諸国が植民地支配を広げていく中で、日本も日清・日露戦争や条約改正を通して、国際的な地位を高めていった。この後、「第一次世界大戦」が起きるが、この戦争はどのような戦争だったのだろうか。

1 節「第一次世界大戦と日本」

第1時 第一次世界大戦【●知識・技能、●主体的に学習に取り組む態度】

大きな被害を出した第一次世界大戦とは一体どのような戦争だったのだろうか。

☆三国同盟 ☆三国協商 ☆第一次世界大戦 ☆総力戦

欧米列強は同盟・軍事協定などによって結びついてきたが、植民地獲得競争などによる諸国間の対立、民族問題を背景としたサラエボ事件をきっかけにして第一次世界大戦がはじまった。戦車、飛行機、毒ガスなど新兵器が登場し、各国の総力戦になった結果、多くの犠牲が生まれる結果となった。世界中を巻き込んだ第一次世界大戦は世界や日本にどのような影響をあたえたのだろうか。（単元の課題）

第一次世界大戦は、世界と日本にどのような影響をあたえたのだろうか

第2時 ロシア革命【●知識・技能】

ロシアは革命によってどのように変化したのだろうか。

☆レーニン ☆ロシア革命 ☆シベリア出兵
☆ソ連 ☆共産主義 ☆五か年計画

ロシアでは、戦争の長期化による皇帝への民衆の不満が、社会主義の思想とともに広まることで革命が起きた。社会主義国家であるロシアは資本主義の列強から干渉を受けたが、革命政府は干渉戦争に勝利し、その後、世界で最初の社会主義国家であるソビエト社会主義共和国連邦が成立することになった。

第3時 国際協調の高まり【●思考・判断・表現】

第一次世界大戦後、国際関係はどのように変わったのだろうか。

☆ベルサイユ条約 ☆民族自決 ☆国際連盟
☆ワシントン会議 ☆ワイマール憲法

連合国は戦敗国に対して制裁的な条約を結び、ドイツの力は弱められた。世界平和と国際協調を目指して、国際連盟が設立された。また、民族自決の理念に基づいて、東ヨーロッパで独立国が誕生した。そして、大戦後の欧米では、民衆の権利も認められるなど民衆が民主主義の新たな担い手となった。

第4時 アジアの民族運動【●思考・判断・表現】

第一次世界大戦後、アジアではどのような運動が起こったのだろうか。

☆二十一条の要求 ☆袁世凱 ☆五・四運動 ☆三・一独立運動 ☆ガンディー

ヨーロッパと同じく、アジアでも民族自決の考え方が広がり、独立の動きが高まった。独立は認められなかったが、アジアの人々は、独立を求めて運動を続けていた。

2 節「大正デモクラシーの時代」

第1時 大正デモクラシー【○思考・判断・表現】

なぜ多くの人々は民衆運動を起し、デモクラシーを唱えたのだろうか。

☆護憲運動 ☆大戦景気 ☆米騒動 ☆原敬 ☆政党内閣 ☆大正デモクラシー ☆民本主義

当時の政治方針は議会を無視していたし、国民の生活を考えていなかった。そのため、人々は生活を向上させるためには政治を変える必要があると考えた。そして、吉野作造や美濃部達吉らの主張に共感する人権意識に目覚めた国民が立ち上がり、国民の政治に対する関心が高まった。

第2時 広がる社会運動と普通選挙法の実現

【○知識・技能】

大正時代の人々はどんなことを求めて社会運動をしていたのだろうか。

☆労働争議 ☆小作争議 ☆平塚らいてう
☆全国水平社 ☆普通選挙法 ☆治安維持法

労働者や小作人、被差別部落の人々など、当時社会的な身分が低かった人々が、デモクラシーの風潮の中で自分たちの願いを実現するためにそれぞれの立場で願いを実現するために社会運動を起こしていた。また、普通選挙法が成立し、人々の努力の結果、民衆の地位は次第に向上していった。

第3時 大正時代の生活と文化

【○思考・判断・表現、○主体的に学習に取り組む態度】

大正時代の文化はどのような特色をもっていたのだろうか。

☆ラジオ放送 ☆芥川龍之介

戦争後の社会運動によって人々の地位が向上したことで、人々の生活や文化も大きな変化がみられるようになった。文化の面では新聞や雑誌が普及し、ラジオ放送が開始されたことで大衆娯楽が定着した。生活面では、洋食や文化住宅など欧米風の生活様式がみられるようになった。また、女性の社会進出が進み、働く女性が増加した。

単元学習後の生徒の認識

大正時代は、世界中が「第一次世界大戦」の総力戦による悲惨な戦争を経験し、その結果、軍力による支配を主とした帝国主義の考えから、平和を求める国際協調の考えへ変化した時代だった。また、世界中で民族自決を訴えた独立運動が広がった。日本ではデモクラシーの世論が強まり、国民生活の向上を目指してさまざまな社会運動が盛んになり、人々の生活や文化が大きく変化した時代となった。

4 単元指導計画

1 節「第一次世界大戦と日本」

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	◇資料 指導・援助
1 第一次世界大戦	<p>第一次世界大戦前の欧米列強の動きを調べることを通して、植民地獲得競争の結果による対立や列強どうしの同盟などによる対立から争いが起こり、新兵器の導入、総力戦となったために、悲惨な戦争となったことに気付き、単元を貫く課題の答えを予想し、単元の学習に見通しをもつことができる。</p> <p>☆三国同盟 ☆三国協商 ☆第一次世界大戦 ☆総力戦</p>	<p>1 死傷者数を日露戦争と比べ、本時の学習課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日露戦争とは比べものにならない多くの死傷者・行方不明者がでている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>大きな被害を出した第一次世界大戦とは一体どのような戦争だったのだろうか。</p> </div> <p>2 第一次世界大戦について資料から調べ、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争の要因（大戦前の国際関係図より） 植民地をめぐる争いから対立する国があり、サラエボ事件をきっかけに戦争となった。 戦争のようす（写真資料より） 第一次世界大戦で使われた新兵器（戦車・飛行機・毒ガス・機関銃）によって被害が拡大した。 戦争の経過（戦線地図より） 列強同士の同盟や軍事協定により、戦争がヨーロッパ全土に広がった。 日本と米国の参戦 <p>【単元を貫く課題】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>第一次世界大戦は、世界と日本にどのような影響をあたえたのだろうか。</p> </div> <p>3 本時の学習をまとめ、単元を貫く課題に対する初めの考えをまとめる。</p>	<p>第一次世界大戦前の欧米諸国の動き及び国際関係から世界中を巻き込んだ戦争であったことを理解することができる。</p> <p>【知・技】</p> <p>第一次世界大戦が世界に与えた影響について、初めの考えをもつことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	<p>◇日露戦争と第一次世界大戦の死傷者</p> <p>◇戦争のようすの写真</p> <p>◇戦前の国際関係図</p> <p>◇大戦中の戦線地図</p> <p>・資料からヨーロッパの多くの国が参戦し、戦争が拡大したことに気付けるようにする。</p>
		<p>植民地獲得競争や様々な同盟・軍事協定によってつながった欧米列強が、サラエボ事件をきっかけとして戦争を始めたのが第一次世界大戦である。戦車や飛行機、毒ガスなどの新兵器も投入され、総力戦となった結果、多くの犠牲者を生むこととなった。</p>		
2 ロシア革命	<p>ロシア革命について調べる活動を通して、長引く大戦の影響で不満を募らせた労働者や兵士を中心とした民衆の不満に、社会主義の思想が加わったことに気付き、世界で初めての社会主義革命が起きたことを理解することができる。</p> <p>☆レーニン ☆ロシア革命 ☆シベリア出兵 ☆ソビエト社会主</p>	<p>1 ロシアで社会主義革命が起こった事を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>ロシアにおける社会主義の思想は、革命によってどのように変化し、確立していったのだろうか。</p> </div> <p>2 第一次世界大戦当時のロシアの状況や革命政府による社会主義政策についてつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争の長期化によって生活が苦しくなり、民衆の皇帝への不満が出てきた。 レーニンの指導の下、社会主義を唱える世界で最初の政府が誕生した。（ロシア革命） 革命政府は土地を農民に分配して銀行や鉄道、工場を国営化するなど、上下関係のない平等な共産主義国家を目指した。 後にソビエト社会主義共和国連邦が成立した。 <p>3 他国がソ連成立前に干渉した理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資本主義国であった日本、アメリカ、イギリス、フランスは、社会主義の思想が自国に及び、資本主義の思想が揺らぐことを恐れたため。 <p>4 本時の学習をまとめる</p>	<p>ロシア革命の背景と経過、その後の歩みについて理解することができる。</p> <p>【知・技】</p>	<p>◇演説するレーニン</p> <p>◇資本主義と社会主義</p> <p>◇シベリア出兵写真</p> <p>◇計画経済の説明</p> <p>・社会主義と資本主義の考え方の違いから列強が干渉した理由に気付けるようにする。</p>

	<p>義共和国連邦 ☆共産主義 ☆五か年計画</p>	<p>戦争の長期化による皇帝への民衆の不満が、社会主義の思想とともに広まって革命になっていた。社会主義は資本主義の列強から干渉を受けたが、その後世界で最初の社会主義国家であるソビエト社会主義共和国連邦が成立することとなった。</p>		
3 国際協調の高まり	<p>第一次世界大戦後の各国の動きについて調べる活動を通して、ドイツへの制裁的な条約を結んだことと、世界平和を願い、国際連盟が設立されたことに気付き、国際協調の潮流が強まったことを見だしまとめることができる。</p> <p>☆ベルサイユ条約 ☆民族自決 ☆国際連盟 ☆ワシントン会議 ☆ワイマール憲法</p>	<p>1 第一次世界大戦後に、パリ講和会議でベルサイユ条約が結ばれたことを確認する。</p> <p>第一次世界大戦後、国際関係はどのように変わっていったのだろうか。</p> <p>2 第一次世界大戦後の世界の動きを教科書や資料集から調べて、交流する。</p> <p>ドイツ 全ての植民地と領土の一部を失い、巨額の賠償金を支払うことになったため、経済が混乱した。後に国際連盟への加盟が認められたりワイマール憲法が定められたりするなど、民主的な国づくりが進んだ。</p> <p>アメリカ ヨーロッパ諸国にかわって世界経済の中心となり、発言力を強めた。</p> <p>世界 ウィルソン大統領は民族自決を唱え、ヨーロッパでは独立を認められた国ができた。国際協調を目指して国際連盟がつくられ、日本も加盟し常任理事国となった。</p> <p>3 ワシントン会議の内容から、戦争を回避し平和な世界を目指したことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植民地の現状維持や軍縮を行うなど、協調的に世界平和を目指す動きが高まってきた。 <p>4 本時の学習をまとめる</p>	<p>第一次世界大戦後、国際平和を求めて国際協調が高まったことを理解することができる。</p> <p>【思・判・表】</p>	<p>◇ベルサイユ条約の内容 ◇ウィルソンの構想 ◇大戦後のヨーロッパ地図</p> <p>・ウィルソンの提案内容の意味を十分に考えさせ、国際協調による平和を求めていることに気付けるようにする。</p>
		<p>敗戦国に対し、制裁的な条約を結び、世界平和と国際協調をめざして国際連盟が設立された。また、民族自決の理念に基づいて、東ヨーロッパで独立国が誕生した。そして、大戦後の世界では、民衆の権利も認められるようになり、政治や文化に影響した。</p>		
4 アジアの民族運動	<p>第一次世界大戦後のアジアについて調べる活動を通して、世界平和と国際協調の風潮がアジアでも広がっていたことに気付き、中国・朝鮮・インドなどのアジア諸国では、帝国主義に反対する独立運動へと発展していったことを見だしまとめることができる。</p> <p>☆二十一か条の要</p>	<p>1 五・四運動の民衆デモの様子から、アジアでの民族運動の様子をとらえ、課題を設定する。</p> <p>第一次世界大戦後のアジアでは、どのような変化が起こったのだろうか。</p> <p>2 第一次世界大戦後のアジアの民族運動の様子を教科書や資料集をもとに調べる。</p> <p>中国 大戦後、パリ講和会議で山東省の権益の返還が拒否されたことをきっかけに反日、反帝国主義の五・四運動が起こった。</p> <p>朝鮮 日本による併合からの独立をめざして三・一独立運動が起こり、朝鮮全土に広がったが、朝鮮総督府により鎮圧された。</p> <p>インド イギリスの植民地支配からの独立を目指し、ガンディーによる完全な自治を求めて非暴力・不服従を唱える</p>	<p>中国・朝鮮・インドにおいて民族の独立運動が起きたことを理解することができる。</p> <p>【思・判・表】</p>	<p>◇五・四運動 ◇二十一か条の要求 ◇三・一独立運動 ◇ガンディーの言葉</p> <p>・二十一か条の要求で示された租借延長の地域の位置を地図で確認する。</p>

求 ☆袁世凱 ☆五・四運動 ☆三・一独立運動 ☆ガンディー	大規模な抵抗運動が起きた。 3 本時の学習をまとめる。		
	ヨーロッパと同じく、アジアでも民族自決の考え方にともなう独立運動が高まった。独立は認められなかったが、それでもアジアの人々は、独立を求めて運動を続けたようだ。		

2 節 「大正デモクラシーの時代」

1 大正デモクラシー	貧しい庶民が政府に対する暴動を起こした理由を考える活動を通して、自分たちの生活を自ら向上させるため政治を変えようとしたことに気づき、国民の政治的自覚が高まったことを見だしまとめることができる。 ☆護憲運動 ☆大戦景気 ☆米騒動 ☆原敬 ☆政党内閣 ☆大正デモクラシー ☆民本主義	1 国会議事堂を取り巻く民衆の様子から、大正デモクラシーについて確認し、課題を設定する。 なぜ多くの人々は、民衆運動を起こし、デモクラシーを唱え出したのだろう。	各地で民衆運動が起こり、デモクラシーの風潮が高まった理由を様々な資料から考察している。 【思・判・表】	◇議事堂を取り巻く民衆 ◇尾崎行雄の国会演説 ◇ある小作人の暮らし ◇吉野作造の民本主義 ◇美濃部達吉の天皇機関説 ◇米騒動 ・いくつかの資料をもとに、多面的な視点から追究ができるように机間指導する。
		2 自分が関心をもった資料について追究し、交流する。 ・桂内閣は、議会を全く無視して政治を行っていた。 ・戦争の影響で、庶民の生活が苦しくなり、政府に対して不満が出てきた。 ・世界の民主主義の動きを知って、日本にもそれを唱える人が現れた。その影響から民主主義の思想が広まった。 3 その後どんな変化があったのかを調べる。 ・大戦景気で重化学工業が発展した。 ・米騒動が起き、民衆の運動が活発になっていった。 ・日本で初めての政党内閣が成立した。 4 本時の学習をまとめる		
		当時の政治方針は議会を無視していたし、国民の生活を考えていなかった。人々は生活を向上させるためにはその政治を変える必要があると考えた。そして尾崎行雄や吉野作造、美濃部達吉の主張に共感するようになった国民が、自分たちの生活を向上させるために立ち上がったのだ。そうして国民の政治に対する関心が高まっていった。		
2 広がる社会運動と普通選挙の実現	デモクラシーの高まりによって起きた社会運動について調べる活動を通して、労働者や女性、被差別部落に住む人々の間に地位向上を求める動きが広まったことに気づき、「当時の人々が自分たちの願いを実現するための民衆運動が盛んになったことを理解することができる。 ☆労働争議	1 前時を振り返り、第一回メーデーの写真から、課題を設定する。 大正時代の人々は、生活の向上のためにどんな社会運動をしていたのだろう。	多くの民衆運動が盛んになった理由を資料から考察している。 【知・技】	◇第一回メーデー写真 ◇メーデー参加を呼びかけるビラ ◇労働争議、小作争議の増加 ◇青踏社の婦人解放宣言 ◇全国水平社大会ポスター ◇山田少年の演説 ・各視点の情報整理し、事実認識を援助する。
		2 労働者・小作人・女性・被差別部落の各視点について教科書や資料集から調べて交流する。 労働者・小作人 ・労働者は労働条件の改善や団結の自由など、地位向上のために労働争議を起こした。 ・小作人は苦しい生活を変えるために、小作料の引き下げや免除をめぐる地主と対立した。 女性 ・女性の政治や社会活動への参加など、女性の地位向上、差別からの解放を求めて女性運動を起こした。 被差別部落 ・被差別部落の人々が、差別と迫害により奪われた自由と平等の獲得をめざして全国水平社をつくった。 3 民衆運動が盛んになる中で普通選挙法が成立したこと		

	<p>☆小作争議 ☆平塚らいてう ☆全国水平社 ☆普通選挙法 ☆治安維持法</p>	<p>と、時を同じくして治安維持法が成立したことを確認する。</p> <p>4 本時の学習をまとめる</p>		
		<p>労働者や小作人、女性、被差別部落の人々など、当時社会的に身分が低かった人々が、デモクラシーの風潮の中で自分たちの願いを実現するために様々な民衆運動をおこなってきた。それぞれの立場で自由や平等などを求めて運動をすることで、生活の向上や権利の獲得につながっていた。そして、普通選挙法の成立によって、人々の地位は向上していった。</p>		
<p>3 大正時代の生活と文化</p>	<p>大正時代の生活と文明開化の頃と比較することを通して、西洋の文化を変化させながら取り込み、一般庶民にまで浸透されたことに気づき、豊かな生活を手に入れたことを考察することができる。</p> <p>☆ラジオ放送 ☆芥川龍之介 ☆文化住宅</p>	<p>1 大正期と明治期の町の様子を比べて課題を設定する。</p> <p>文明開化のころと比べて人々の生活にはどのような変化があったのだろうか。</p> <p>2 大正時代の国民生活を表す写真資料から時代の変化を追究、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トンカツ、ライスカレー、コロッケなどの洋食 ・ラジオ、蓄音機、電話の普及 ・職業婦人の活躍 <p>3 大衆文化の発展とともに、教育の普及や新しい思想がうまれたことを確認する。また関東大震災についても触れておく。</p> <p>4 本単元の学習を終えての、単元を貫く課題に対する考えをまとめる。</p>	<p>第一次世界大戦が世界や日本にあたえた影響について単元を貫く課題に対する考えをまとめることができる。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>大正時代の日本の発展した大衆文化や大きく変化した生活について、時代の推移に関連付けながら捉えることができる。</p> <p>【主観的に取り組む態度】</p>	<p>◇浅草六区 ◇洋食の写真 ◇ラジオ・映画・雑誌 ◇バスガール</p> <p>・明治期との比較、現在との比較を通して、大正時代に文化や生活が大きく変化したことに気付けるようにする。</p>
		<p>大正時代は、世界中が「第一次世界大戦」という総力戦による悲惨な戦争を経験し、その結果、軍事力による支配を主とした帝国主義の考えから、平和を求める国際協調の考えへと変化した時代であった。また世界各地で民族自決を訴えた独立運動が広がった時代でもあった。日本ではデモクラシーの世論が強まり、普通選挙運動や労働運動、差別撤廃運動などの国民生活の向上を目指した運動が盛んになり、人々の生活や文化が大きく変化した時代となった。国内外において充実してきた日本は、今後の国際社会でどのような立場をとっていくのだろうか。</p>		